



## 「ぱれっとのビジュアルブック」ついに完成!



ぱれっとのビジュアルブックのタイトルは、「あなたとわたし わたしとあなた-知的障害者からのメッセージ-」に決定しました!

### ●印刷までの流れ

第1案のたたき台をデザイナーの大久保さんにお渡しし、並行してキャプションを英語に翻訳する仕事は、小学館の廣野さんからのご紹介で、神保町にある株式会社リングア・ギルドさんにお願いました。こうして11月下旬、写真や文字の大きさなど、実際の本にほぼ近い形の第2案のたたき台が出来上がってきました。編集会議では、内容や読みやすさ等の最終確認と並行して、写真掲載

許可の本人確認、協力者への記載確認作業が行なわれました。そして印刷へ!

### ●広報をお願いします!

本ができれば販売です!販売するためにチラシやDMを作る作業も進められました。今月号の「ぱれっとつうしん」には、チラシもDMも同封しています!障害のある人が地域で当たり前活動していく」というぱれっとの理念を、子どもや障害のある人、今まで障害者と関わる機会がなかった人まで、広く伝えたいと考えています。ぜひ皆さまもご購入いただき、広めていって欲しいと思っています。よろしく願いいたします。えびす・ぱれっとホーム職員 姫崎由美

**廣野 篤**(小学館・担当編集者) : はじめまして。小学館の廣野です。このたび、ビジュアルブック『あなたとわたし わたしとあなた-知的障害者からのメッセージ-』を出版させていただくことになりました。お話を初めて伺ったのが6月。長いような短いような約半年間でしたが、現在は色校正刷が出ており、本の最終形に近づいてきました。形のない状態から、だんだんと本に仕上がっていく。その過程は、何度経験しても、得も言われぬ楽しさがあります。それも、この本は心震えるほどの仕上がりで、編集者としての幸せを感じています。これも、関わられたみなさまのお力で、感謝のことばもあります。出版不況と言われ、利益や売上が大きな声で語られることが多いのですが、読んだ方の心の中に、なにか良いものが宿る、そんな本を出版していくこともたいせつなことだと思います。この本に携われたことを本当に光栄に感じています。

**谷口奈保子**(NPO 法人ぱれっと理事長) : 2012年5月に理事長を退任するにあたって、これまでの30年の活動を何かの形で残したいと思い始めたのは1年半前のことです。地域に知的障害者の姿が見えないということがきっかけで、彼らを誘って一緒に楽しもうと学生たちに声をかけたのが「ぱれっと」の始まりでした。

そして今、地域で働き、余暇を楽しみながら暮らす知的障害者が少しずつ増えてきたと実感しています。どんな障害があっても、気軽にお隣さんとお付き合いができる社会になるには、もう少し時間がかかるかもしれません。ぱれっとでは、そんな人たちのごく普通の生活を、ビジュアルブックを通して発信しようと考えました。

本作りのプロの方々への支援を得ながら進めてきた1年、ぱれっとの絵本がいよいよよでき上がります。ぱれっとの30年の思いが残せることを、私は心から嬉しく思います。

